

【第 122 回研修会報告】

令和元年 11 月 27 日(水)地場産業振興センターで行われた第 122 回研修会には会員 21 名が参加し、ストレスチェックの活かし方について 3 部形式で行われました。

1 部 代表幹事挨拶とアンケート調査結果報告



①個々のストレス要因を把握し、セルフケアを通してメンタルヘルス不調の未然防止を図ることについては、ストレスチェックへの期待度が高い企業の実行度は 87.5%であるが、期待しない企業の実行度は 50%である。ほどほどの期待の企業でも実行度は 69.7%になっている。

②集団ごとの集計・分析を通して職場の課題を把握し、部門の管理監督者を中心に部門の構成員で改善策を考え、職場の環境改善を図ることについては、ストレスチェックへの期待度が高い企業の実行度は 87.5%であるが、期待しない企業の実行度は 60%である。ほどほどの期待の企業でも実行度は 72.4%になっている。(調査結果報告は別途記載)。

● 2 部 石川県予防医学協会健康管理センター所長 田畑医師による講演

①踏み込み不足の感がまだ残る。

②職業性ストレス要因や反応と支援図の価値表を図式で表わすことのメリットと図作成の負担を如何に見れば良いのか。図に表示の差を有意差有りとなえられるのか。

③集団分析をするうえでの留意点

- ・ 目的を十分理解しておくこと。
- ・ ストレス要因の一面を把握できるものである。
- ・ 改善活動のきっかけを提供する目安であって、万全ではない。

④ネガティブな視点での捉え方に限定せず、いきいき職場づくりなどを目指したワーク・エンゲイジメントの視点で捉える。

⑤予防医学協会として、分析結果での課題把握報告内容に課題の把握、顧客にモット寄り添った資料を提供したい。



● 3 部 石川県産業保健総合支援センター 亀田保健師による講演とグループワーク



●参加者の感想

- 1・ 他業種の方との意見交換、情報共有ができさんこうになることが多かった。ただ今回のテーマ（ストレスチェック）での個々の悩みの共有がもう少し深く出来たらと思った。
- 2・ グループワークの中でたくさんの他企業の方の職場改善アイデアを聴くことができ参考になった。具体的なアイデアは自分一人や社内だけではなかなか出てこないように思う。
 - 2-1・ 社に戻りもう一度今年の職場分析を見直そうと思った。
- 3・ ストレスチェックの対応についてグループワーク等で理解が深まった。
- 4・ 大変良く理解でき、今後安全衛生委員会で水平展開したいと思う。
- 5・ ストレスチェックについての理解が深まり参加してとても良かった。具体的な事例で検討でき、活用方法が分かりやすく学べた。また、グループワークでいろいろな意見を聞くことが出来てとても参考になった。また参加したい。
- 6・ ストレスチェックから見えてくる問題は様々だが、利害が絡むことで進まない現状、諦めからくる停滞もありで難しいと感じた。しかしこのような研修に参加することで新たな気づきを得ることが出来た。一人一人のパワーが集団のパワーとなり快適な職場へ繋がるのだと思った。
- 7・ ストレスチェックの見方がわかった。
 - 7-1・ グループでの話し合いは大変良かった。自分の中にある意見や同じ思いを言葉にできて気持ちが楽になる部分もあった。もっと雑談がしたかった。
- 8・ 職場改善へのヒントがたくさんあった。
 - 8-1・ 次回の希望はどのように広める方法、手順をまた考えたい。
- 9・ グループワークはたくさんの意見が出たが、自社に戻った時に主観が入って活発な意見交換ができるかどうかかわからないが、やってみたいと思った。
 - 9-1・ いろいろな意見を聴ける機会は独り善がりにならなくてよい。
- 10・ ストレスチェック結果を次にどう活かしていくのかのヒントを得ることができた。
- 11・ ストレスチェックのグラフの詳細説明を聴くことができ、有意義だった。
 - 11-1・ いろいろな企業の方と交流ができ、それぞれのもつ課題、考え方を学ぶことができた。
 - 11-2・ グループワークを通して、同じ課題についてもいろいろな捉え方、視点を知ることが出来た。
- 12・ ストレスチェックはフォローまでが本来の活動

衛生管理者研究会

12-1・グループ討議が良かった。

13・ 予防医学協会からストレスチェックの集団分析結果をいただくが、その中に企業の大まかなコメントもいただきたいと思った

14・ 色々なアイデアが聴けたことが参考になった。

15・ 本日出席の方々は自社の従業員の「安全、安心、健康」の向上に使命感をお持ちの方々だと思う。

今後、衛管研、産保センターの研修・交流を通じて情報交換（良いところ取り）を行い、自社でアレンジし活用できる場になれば良いと思う。この輪をもっと広げていきたいと思う。